

シルバー いせはら

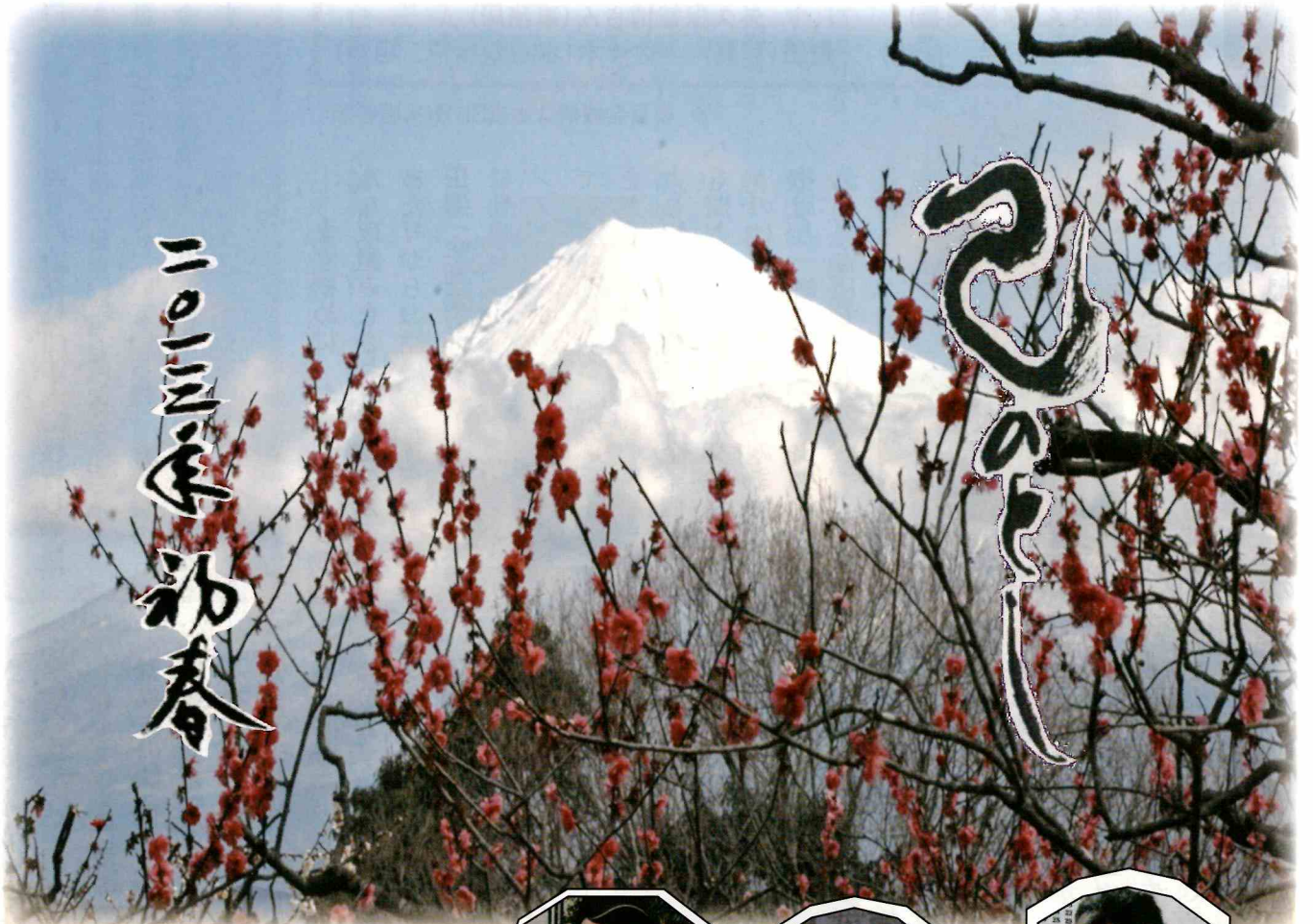
会報 第40号

平成25年1月1日

発行

(公社)伊勢原市シルバー人材センター
〒259-1131

伊勢原市伊勢原2-7-31シティプラザ1F
TEL 0463-92-8801 FAX 0463-92-0008
<http://www.sjc.ne.jp/isehara/>



二〇一三年
初春

おめでとう



新年おめでとうございます
理事長 岩崎 勲
昨年4月に公益社団法人として新たにスタートしましたが、会員の皆さまのご尽力によりセンター事業も順調に推移しております。
今年も健康には十分留意してシルバーパワーでがんばりましょう。





新春座談会

——年度活動を語る

できたこと **そして** これから

出席者

田邊憲一さん(企画調整委員会)
陶山維計さん(安全管理委員会)
鈴木 博さん(事務局長)
広報 渡辺(司会 記録)

滝本勝美さん(就業開拓委員会)
藁科良信さん(広報委員会)
外久保智博さん(事務局)
飛田(写真) 佐々木(ホームページ担当)

※ 委員会機構は本紙38号P4図参照

鈴木 「ご出席ありがとうございます。四月に公益社団法人に移行して最初の年度です。会員によるシルバー事業の自主運営というテーマの下、日頃各委員会活動の責任者として活躍いただいている様子を会員へ詳しくわかりやすく伝える会として開催しました。紙面上の制約はありませんがよろしく願います。」

——まず初めに、年度活動としてどんな取組みをされたのか、そのあたりからお話いただけますか。

田邊(企画調整) はい、会員が公平に仕事を分かち合うワークショップというところで昨年度より取り組んでいます(37号参照)、現在、これをさらに民間継続契約の職場へも拡大している最中です。企業側の要望も聞きながら働き手が交替するというのは難しい問題を含みますね。事務局と一緒にともかく出来るところから実施しています。



田邊さん

——目標としては?

田邊 現在の就業率63・2%を80%に引き上げるのが目標です。そのため、今年度は未就業会員295人の

アンケート調査をしました。後ほど詳しくお話しします。

——そうした就業の公平化の一方で、就業先の開拓は、ますます重要課題になってきますね。

滝本(就業開拓) まず市民にシルバーの存在を知ってもらうことから始めました。7月全会員に「シルバー料金表」の配布をお願いしました。こうした「口コミ」作戦のほかには、伝ポスターを作成し、これを自治会掲示板・公民館といった場所にも掲示できるように事務局の支援で申請し、許可を得たところです(10月)。



滝本さん

——手応えはいかがですか。

滝本 一般家庭からの受注が増えているということですが目に見える効果は難しいでしょう。しかし、こうした取組みは継続が大切です。

——本紙でも「安全パトロール」

に同行取材させてもらっています。陶山(安全管理) ええ、いつもありがとうございます。パトロールは事務局も同行して年4回、他に安全研

修を実施してきます。事故はどの仕事でも起き得ることなので、全組織の取組み課題だと考えてます。

——今、検討されている事柄と申しますと。

陶山 はい、「安全研修」「安全パトロール」など実施してきましたが、さらなる「安全就業推進計画」として9項目を具体的に検討しています。一例ですが各職群班リーダーにもつきめ細かな取組みが出来ないか、協議しています。

藁科(広報) 今の事故のお話ですが、広報としても、いろいろなニュースの状況報告には出来るだけ具体的なデータも添えるようにしています。そのほか、会員が生き生きと楽しく働く姿を現場に即して載せるよう努めています。



藁科さん

鈴木 そうした皆さんの様々な取組みの成果として10月末現在の契約金額は昨年度より7・1%増です。おそらく年度末には3億円の大台を超えるものと予測しています。



田邊さん、先程の未就業者の調査ですが。

田邊 はい、初めての調査なんです。回収率が44%で少々低かったです。就業できない人の理由が「別の仕事をしている」「家庭の事情」「希望にそぐわない」等の回答があり、未就業の実態が少しわかりました。こうした実態を踏まえて今後の就業率向上を検討していきます。

——就業期間を設けたことにより9月は大幅な交替期を迎えますね。

田邊 そうですね。円滑に、かつ慎重に対応したいと思っています。

外久保 現在、待機中の会員243人の就業希望先として、多いのは駐輪場管理79人、公民館45人などが挙げられます。——それにしても就業先の開拓は千人を超えようという組織体として大きな

課題ですね。

滝本 そうですね。新規開拓として工業団地内企業や商工会へも相談に出向く予定でいます。一方で、高齢者家庭の電球交換や少量の庭木の片づけなど、手近な仕事も多くあるように思うのですが。

滝本 他市の情報を見ると、結婚相談を独自の事業として行なっているように、われわれもつと地域に密着した就業開拓を考えたいですね。外久保 基本的には「シルバーに依頼すれば安心で安い」というのがメリットですし、誰も入り込んでない領域の開拓が進めばいいですね。



鈴木事務局長

鈴木 「ロコミ」作戦は、会員一人一人の活動にかかっています。新規事業にしても、一歩進み出せば、事務局としても大いに支援していきます。安全就業については、自分の身は自分で守ることを自覚することにより事故防止がさらに進められることを期待しています。

さらなる工夫を

——みなさん今後の課題をまとめます。

田邊 通年で実施している管理業務の「就業期間の限定」は、公共施設から民間業務へと進めていきます。また、職群班によってはグループ化することでいくつかのメリットが生



陶山さん

まれるのではと考えています。例えば就業連絡はもつと簡素化スピード化出来ますし、人材育成の面でも効果はあると考えています。そうした試案としての地域密着型の組織ができればいいですね。

陶山 同感です。グループ化によって安全意識の徹底も図れます。例えば大きな事故発生時には各班の担当が駆けつけて、事故原因など詳細に検証し、それをグループに持ち帰って報告すれば、再発防止策として大いに役立つはずですよ。

田邊 自主財源の在り方なども考えなければならぬでしょうね。会員

増加、契約金額増加がどこかで頭打ちになることを考えると、年会費についても一、二年かけて検討する必要があると思います。



外久保さん

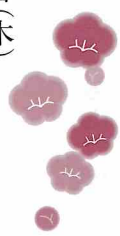
要が出てきますね。藁科 そうした各委員会活動と会員を結ぶ広報の役割はさらに増やしていくように思っています。「楽しい記事」「明るい展望」を求めて活動していきたいですね。

外久保 事務局全員で組織の諸活動をさらにサポートしていきます。会員皆さんの窓口訪問をお待ちしています。

滝本 市民から「こんな仕事をシルバーに相談してみよう」といわれるような環境整備に努めたいです。鈴木 これからも会員皆さんの幅広い活動をお手伝いしていきます。組織一体となってよりいっそう地域貢献に努めましょう。

開催 11月15日(木)

シテイプラザ会議室



就業先現場を視察

第3回「安全適正就業パトロール」

11/22

今回は、スーパー内軽作業（イトーヨーカ堂）・構内作業（吉野工業所）・ニホンザル追い払い作業（大山方面）を視察しました。どの就業場所においても、安全に対する会員独自の工夫や、就業先の配慮を感じることが出来ました。

〔視 察 者〕 安全管理委員会 陶山・小田・松木 事務局 二人・広報 一人



(上) スーパー内軽作業
(下) ニホンザル追い払い作業

事故が増えています

前号でも掲載しましたが、草刈り・樹木伐採中の賠償事故などが前年を上回っています。

前年度に比べ昨年11月現在で賠償事故件数は4件から6件、傷害事故も4件から5件と増えています。各自が安全意識をもち「事故ゼロ」を目指しましょう。

Photo スナップ

11月18日～19日
シルバー旅行（日光）



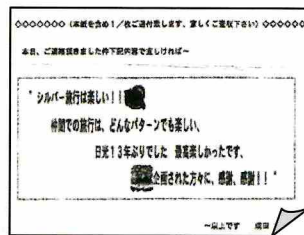
華厳の滝を見物



吹割の滝を散策

掲 示 板

シルバー旅行は楽しい！
仲間での旅行は、
どんなパターンでも楽しい
日光13年ぶりでした。
最高に楽しかったです。
企画された方々に感謝、感謝！



シルバー旅行に参加された方から感想をFAXでいただきました。（右本文）

ホームページを見よう

<http://www.sjc.ne.jp/isehara/>

閲覧方法

- ・ホームページアドレス入力
- ・「伊勢原市シルバー人材センター」と入力
- ・伊勢原市役所公式ホームページの「リンク集」から



事務局だより

パソコン講習会参加者募集
パソコン操作を習得し
今こそスキルアップを！

日程 平成25年2月26日
～28日（全3日間）

場所 八幡台作業所2階

定員 15人

申込締切 平成25年2月8日
までに事務局へ

（応募者多数の場合抽選）

お願い

会員が事務局へ電話をする際は、必ず「会員番号と名前」を告げてから用件を話して下さい。事務局へは、会員以外にもお客様や関係機関など様々な方からご連絡があります。ご理解、ご協力をお願いします。

お知らせ

ご意見・ご希望・投稿などお待ちしております。
事務局又は、広報委員まで
*表紙「シリーズががんばってます」は年男・年女の会員の方々を掲載させていただきました。

広報委員会

あなたにもプロの技を

植木剪定・造園アシスタント講習会

11/27
～29

昨年、環境美化センターに於いて講習会が開催されました。初日の講義後の質疑応答では、「庭木が枯れてしまったがなぜか」「シユロの木は伐採の仕方を教えてほしい」など多数の質問が出されました。実技では植木造園班の講師による指導のもと、会場内の

植木の剪定・造園作業を慣れた手つきで行っていました。



受講者 会員 13人
一般 7人